



## 四半期レポート(2025年10-12月期)

### ■運用概況(2025年10-12月期)

・グローバル株式市場は堅調に推移しました。10月は、トランプ米大統領が中国に100%の追加関税を課すと発表し大きく下落しましたが、同大統領が態度を軟化させたことなどから、値を戻しました。その後も米中貿易懸念が後退したことや、FRB(米連邦準備理事会)が利下げを行ったことなどから上昇しました。

11月は、AI(人工知能)関連銘柄の過熱感やFRB高官の発言などを受けて利下げ期待が後退し、再び下落しましたが、月末にかけては予想を下回る小売売上高を受け、利下げ期待が再び高まり上昇しました。

12月は、大手テクノロジー企業の決算が予想を下回ったことや、AI開発に向けた一部テクノロジー企業の負債拡大への懸念が強まったことなどから下落しましたが、予想を下回るCPI(消費者物価指数)や大手半導体企業の堅調な決算を受け反発しました。

・10-12月期において、地域別では米国株式市場をはじめ、欧州市場やエマージング市場も上昇しました。業種別では、7-9月期とは一転し、ディフェンシブセクターとみなされるヘルスケアセクターが市場平均を上回りました。一方で金利感応度の高い不動産セクターや資本財・サービスセクターなどが市場平均を下回りました。

・そういった中、「WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型) (愛称:ネクスト・ジェネレーション)」(以下、当ファンド)については、資産成長型が3.2%、予想分配金提示型が3.0%上昇となりました。

### 基準価額の推移

#### <資産成長型>

(2021年10月13日(設定日)~2025年12月末)



#### <予想分配金提示型>



※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は信託報酬控除後であり、税引前分配金を再投資したもとして計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮していません。※基準価額は信託報酬控除後です。※実績数値は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。※参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index(配当込み、ドルベース)と当日TTM円/ドルレートにより算出しています。但し、設定日の前営業日は当日のMSCIを使用しています。(設定日の前営業日を10,000として指数化)※参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## リターン・収益分配金

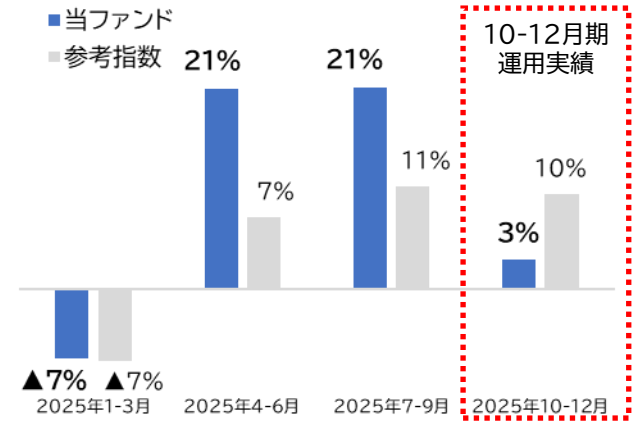
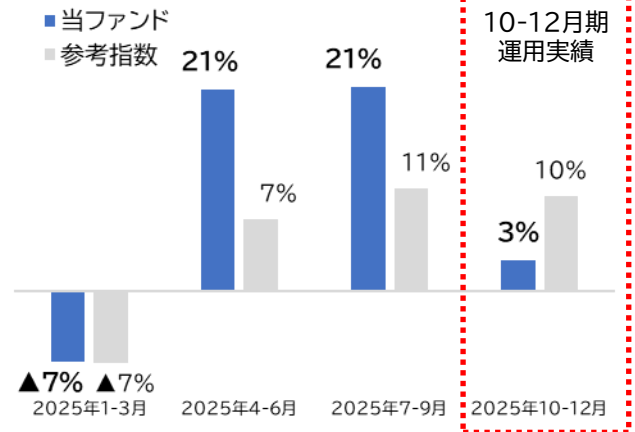
### <資産成長型>

	10月	11月	12月	四半期 10-12月	設定来
リターン	2.4%	▲3.1%	4.0%	3.2%	114.2%
参考指数	6.2%	1.3%	2.1%	9.8%	115.2%
超過リターン	▲3.8%	▲4.4%	1.9%	▲6.6%	▲1.0%
分配金 (1万口当たり、税引前)	0円	0円	0円	0円	0円

### <予想分配金提示型>

	10月	11月	12月	四半期 10-12月	設定来
リターン	2.3%	▲3.1%	3.9%	3.0%	116.8%
参考指数	6.2%	1.3%	2.1%	9.8%	115.2%
超過リターン	▲3.9%	▲4.4%	1.9%	▲6.8%	1.7%
分配金 (1万口当たり、税引前)	400円	300円	400円	1,100円	6,200円

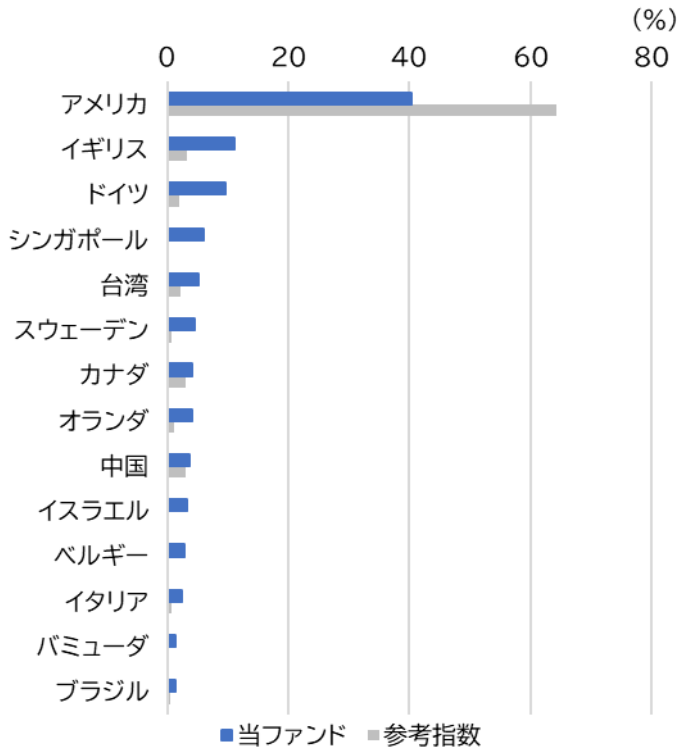
## 四半期別運用実績



※リターンは信託報酬控除後の税引前分配金再投資ベースの基準価額騰落率であり、換金時の費用、手数料等は考慮していません。※参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index(配当込み、ドルベース)と当日TTM円/ドルレートにより算出しています※参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。※上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配金の支払い・金額について保証するものではありません。

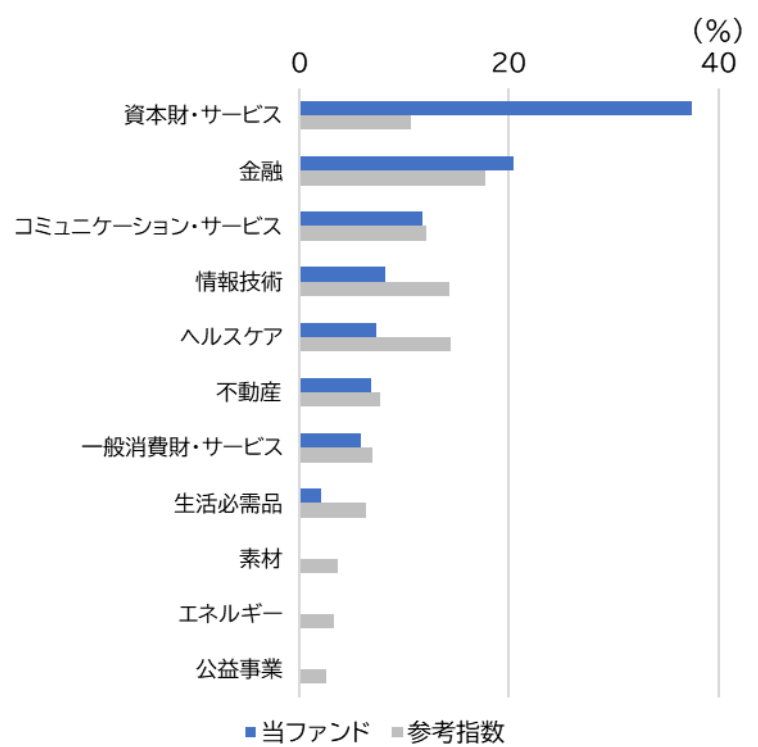
## 国別構成比

(2025年12月末)



## 業種別構成比

(2025年12月末)



※参考指数はMSCI All Country World Index(配当込み、ドルベース)※参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。※当ファンドの構成比は現物株式ポートフォリオに占める比率※当ファンドの国はWCM社の定義に基づいて区分※業種はGICS(世界産業分類基準)に基づく

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## 寄与度上位・下位銘柄

(2025年10-12月末)

### トータルリターン寄与度上位10銘柄

上位	銘柄名	国	トータルリターン(%)	寄与度(%)
1	セレスティカ	カナダ	27.7%	2.1%
2	シーメンス・エナジー	ドイツ	28.5%	1.7%
3	カーペンター・テクノロジー	アメリカ	36.2%	1.3%
4	台湾セミコンダクター	台湾	22.7%	0.8%
5	タバストリー	アメリカ	20.2%	0.6%
6	FTAIアビエーション	アメリカ	25.5%	0.6%
7	コンフォート・システムズUSA	アメリカ	20.1%	0.5%
8	アルガン	アメリカ	23.4%	0.3%
9	リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ	アメリカ	13.0%	0.3%
10	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	11.6%	0.3%

### トータルリターン寄与度下位10銘柄

下位	銘柄名	国	トータルリターン(%)	寄与度(%)
1	シーADR	シンガポール	-24.2%	-1.9%
2	レンク・グループ	ドイツ	-35.1%	-1.2%
3	アビオ	イタリア	-27.0%	-0.5%
4	3iグループ	イギリス	-14.4%	-0.5%
5	シャオミ	中国	-22.8%	-0.5%
6	ウルヴァリン・ワールド・ワイド	アメリカ	-29.5%	-0.3%
7	マンデードットコム	イスラエル	-19.2%	-0.3%
8	ディディ・グローバルADR	中国	-9.9%	-0.2%
9	プロサス	オランダ	-6.2%	-0.2%
10	ワイズ	イギリス	-8.7%	-0.2%

※国はWCM社の定義に基づいて区分。

※上記個別銘柄は、当ファンドが組入れた銘柄の紹介であり、特定の銘柄の売買取引を推奨するものではありません。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

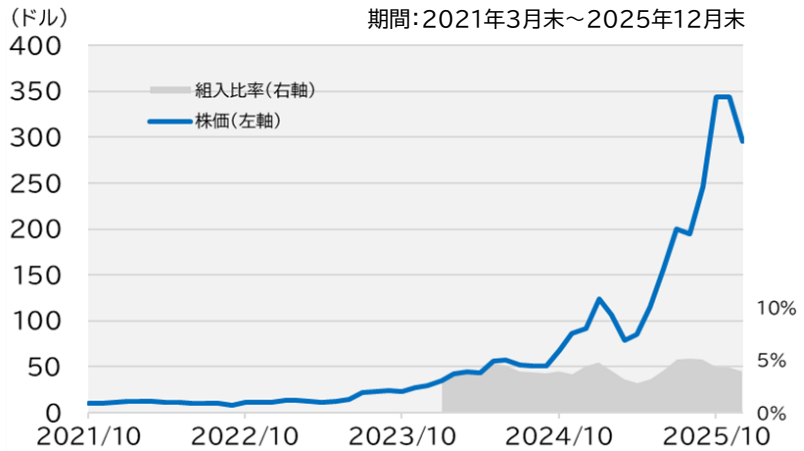
(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## 寄与度上位銘柄

### 寄与度上位①:セレスティカ(カナダ)

同社は主としてグローバルに事業を展開するハイパースケーラー(大規模クラウド事業者)に対し、データセンター向けハードウェアの設計・開発・製造などを行っています。10-12月期は主要顧客のデータセンターインフラ拡張に伴い、AIアプリケーション向けのネットワーク製品やサーバー需要が極めて好調に推移しました。

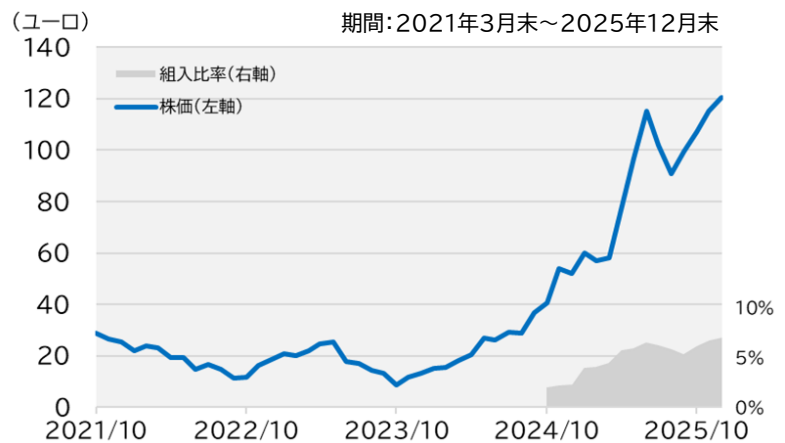
好業績を背景に証券会社などが買いの推奨や目標株価引き上げを発表する中、バリュエーション面の判断から一部の株を利益確定売りしました。しかしながら、WCM社では同社の提供するサービスへの需要は引き続き拡大基調を辿るとの判断から高位の組入比率を維持しています。



### 寄与度上位②:シーメンス・エナジー(ドイツ)

同社は再生可能エネルギー(風力、太陽光)、脱炭素技術、送電技術、各種タービンの製造などエネルギー関連製品を提供しています。10-12月期は主として堅調な四半期決算の発表、中期経営計画の大幅な上方修正、並びに大規模な自社株買いの発表などが好感されました。

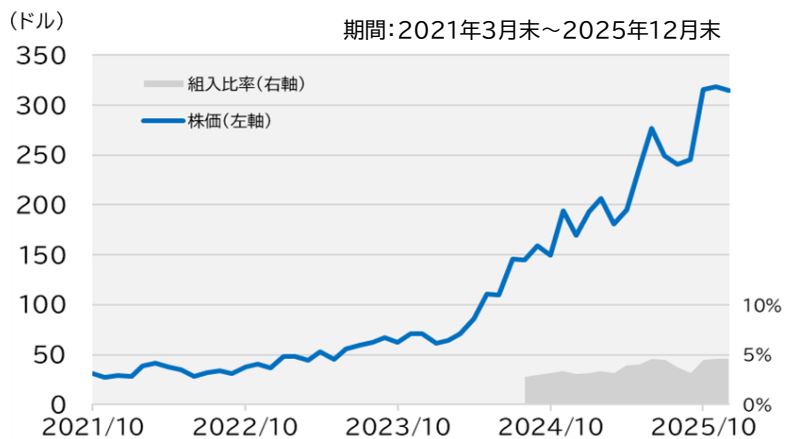
WCM社では主要市場である欧州をはじめとするガスタービンの需要、送電網構築の必要性が高まる中で最適な製品ポートフォリオを有しており、当社ビジネスへの追い風は非常に強い一方、バリュエーション面はその投資魅力度を十分に反映していないと考えています。



### 寄与度上位③:カーペンター・テクノロジー(アメリカ)

同社は特殊合金を始めとした航空宇宙・防衛市場で使用される各種の金属を扱っており、当該分野では支配的な地位を獲得しています。ここ数年は、生産能力を拡張しないことを決定し、他方で好需給を背景に価格を大幅に引き上げていることから収益力の大幅な伸長が見られています。

10-12月期は航空宇宙や防衛関連の受注が順調に伸びていることや、航空宇宙分野の大手クライアントと大規模な長期契約を新たに締結したとの報道が好感されました。WCM社では同社の収益改善の動きが長く続くとの判断のもと強気の投資判断を維持しています。



※組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する組入比率。

※国はWCM社の定義に基づいて区分しています。

※上記個別銘柄は、当ファンドが組入れた銘柄の紹介であり、特定の銘柄の売買取引を推奨するものではありません。また、上記コメントは、予定なく変更することがあります。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

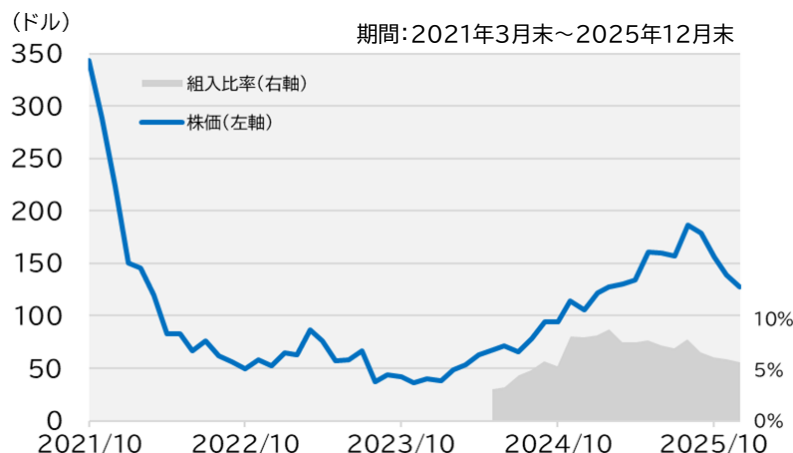
(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## 寄与度下位銘柄

### 寄与度下位①:シー ADR(シンガポール)

同社は東南アジアを中心にブラジル、メキシコなどでeコマース、オンラインゲーム、デジタル決済サービスやローンの提供などを行っています。10-12月期は直近決算で市場の高い業績期待に届かなかったことから株価はネガティブな反応を示しました。

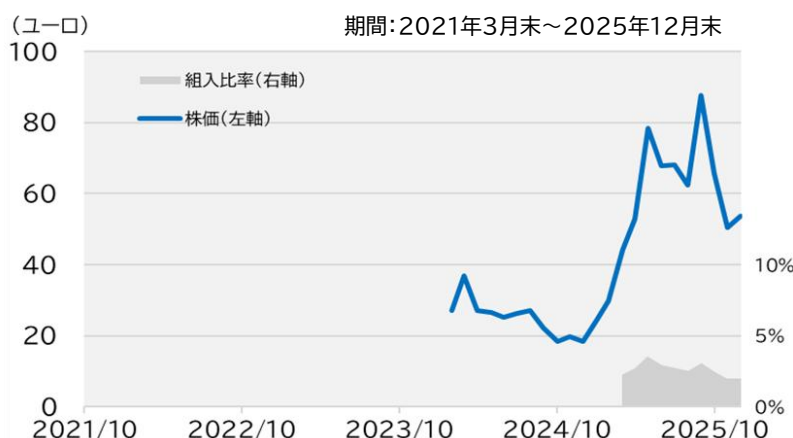
しかし、WCM社では経営陣との面談において、短期的な利益成長よりも先行投資を優先するという同社の意向について確認しており、短期的な業績の下振れについては想定範囲内であると認識しています。中長期的には先行投資が奏功し更なるビジネス拡大が期待できるとの判断から、継続保有としています。



### 寄与度下位②:レンク・グループ (ドイツ)

同社はフォルクスワーゲンの元子会社で、主として戦車や軍艦向けのギアボックスを製造・販売しています。9月にはドイツなど欧州諸国において国防予算の劇的な拡大や防衛産業の強化と技術革新を支援する動きが加速する中、同社株価は好パフォーマンスを記録しましたが、以降は利益確定の動きが強まり、パフォーマンスは弱含みました。

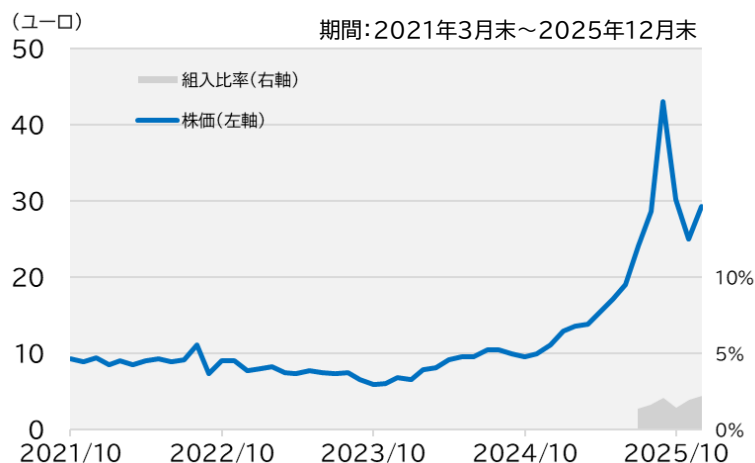
しかしながら欧州の防衛強化の動きを背景に直近決算では好業績を維持しており、WCM社は同社を取り巻くファンダメンタルズに引き続き強い確信度を維持しています。



### 寄与度下位③:アビオ (イタリア)

同社は航空宇宙、防衛用途に使用される衛星推進システムや戦術ミサイルの設計、開発、製造を行っています。欧州諸国における地政学的リスクの拡大を受け、域内の防衛関連銘柄は好パフォーマンスを記録しましたが、10月以降は利益確定の動きが強まったほか、同社については米国市場での投資と事業拡大等を目的とした増資を行ったことなどが嫌気されました。

WCM社では同社のタイムリーな投資判断を支持しており、パフォーマンスの悪化も一過性のもと考え引き続き強気のスタンスを維持しています。



※組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する組入比率。

※国はWCM社の定義に基づいて区分しています。

※上記個別銘柄は、当ファンドが組入れた銘柄の紹介であり、特定の銘柄の売買取引を推奨するものではありません。また、上記コメントは、予定なく変更することがあります。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

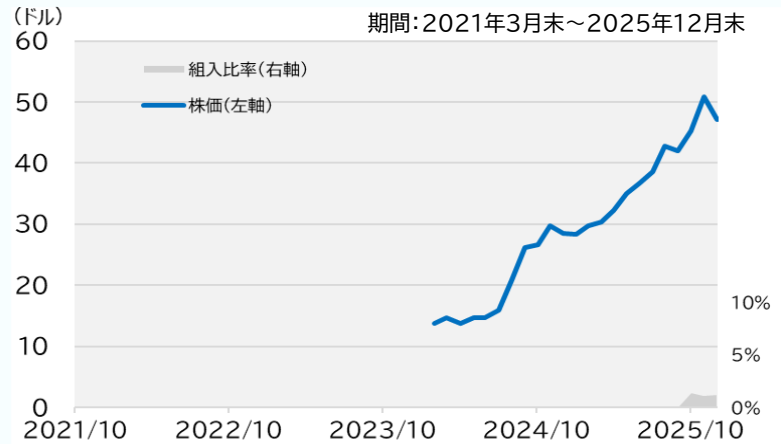
(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## 主な売買動向

### 新規購入:アメリカン・ヘルスケアREIT(アメリカ、エクイティ不動産投資信託(REIT))

同社は主として高齢者住宅、看護施設、その他医療関連施設を取得・所有・運営するヘルスケアREIT(不動産投資信託)です。WCM社では米国の高齢者住宅の需給のミスマッチに注目しています。コロナ渦で高齢者住宅の新規供給が凍結された一方、米国の人口構成において急速なペースでの高齢化が進捗していることから、同社の保有する高齢者住宅ポートフォリオへの強い追い風があるものと考えています。

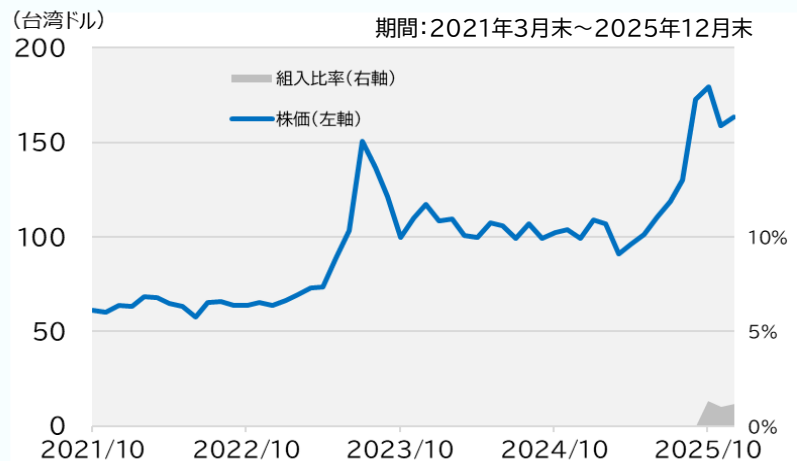
需給の不均衡を背景に今後、同社保有物件の稼働率の上昇による業績改善やバリュエーションの修正が期待されます。



### 新規購入:ライトオン・テクノロジー(台湾、テクノロジー・ハードウェアおよび機器)

同社はAIサーバー向けの電源・冷却ソリューションメーカーで、AIサーバーに電力を供給する電源供給装置における大手企業の一角です。データセンター内の電力需要が急速に増加し続けると予想される中、今後数年間で同社製品への需要拡大が見込まれます。また同社は、ここ数年来、多くの低収益事業の売却を行っており、利益率を拡大しながら大幅な成長を遂げる体制が整っていると判断されます。

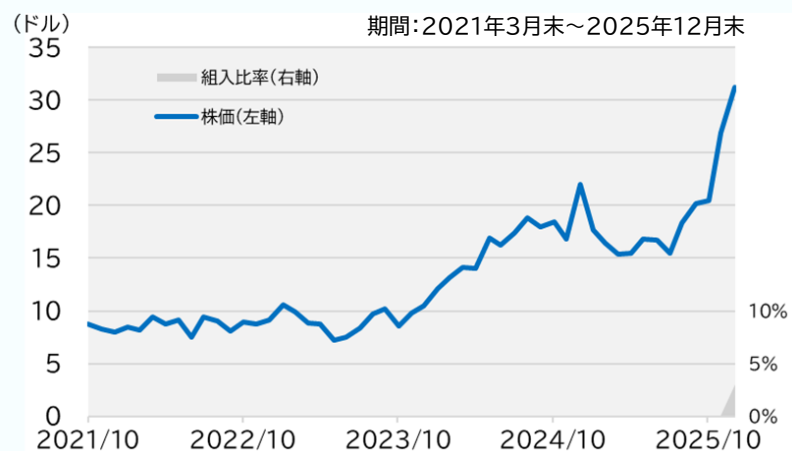
WCM社では市場で今後の潜在性がまだ株価に織り込まれていないと判断し、将来のバリュエーション修正に期待しています。



### 新規購入:テバ・ファーマセーティカル・インダストリーズ ADR(イスラエル、医薬品・バイオテクノロジー・ライセンス)

同社はイスラエルを拠点とする製薬会社で、世界各国でジェネリック医薬品の販売や受託製造サービス等を行っています。元来は財務体質の悪さなどマネジメント面における諸問題が嫌気されていましたが、新CEOが就任し、明確な戦略や効果的な資本配分、そして厳格な実行力への期待が高まっています。

WCM社では、高齢化と医療費支出の増加により、特に先進国市場においてジェネリック医薬品への世界的な需要が継続して拡大していることに加え、バイオ医薬品、生物学的製剤へのビジネスミックスのシフトによる成長の可能性に着目しています。



※組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する組入比率。

※国はWCM社の定義に基づいて区分しています。業種はGICS(世界産業分類基準)に基づくものです。

※上記個別銘柄は、当ファンドが組入れた銘柄の紹介であり、特定の銘柄の売買取引を推奨するものではありません。また、上記コメントは、予定なく変更することがあります。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

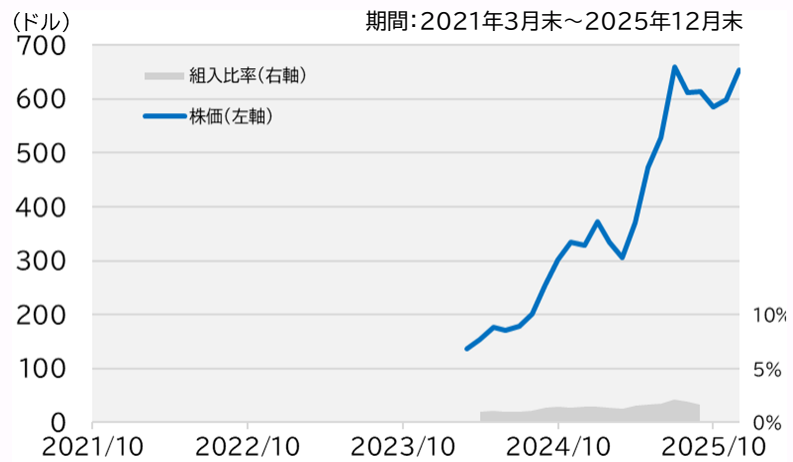
(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## 主な売買動向

### 全売却:GEベルノバ (アメリカ、資本財)

同社はエネルギー関連の事業を行うグローバル企業で、ガス、原子力、水力、蒸気タービン等の発電設備や、風力タービンなど風力発電技術を提供しています。好業績が続いていることに加え、WCM社では同社の持つ発電技術などの事業ポートフォリオが同業のシーメンス・エナジーと同じく足元で強い追い風を受けていると判断しています。

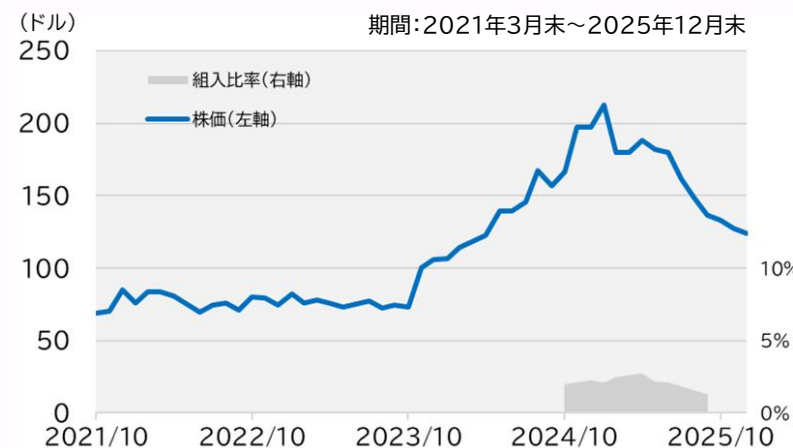
一方で電力関連銘柄のエクスポージャー調整の観点から、より投資魅力度の高いシーメンス・エナジーを継続保有し、同社株式については売却することを決定しました。



### 全売却:ゴードディ (アメリカ、ソフトウェア・サービス)

同社は中小企業向けにクラウドベースのウェブサイトプラットフォーム構築を手掛けています。コアビジネスは、ドメインの販売を行い、ウェブサイト構築およびデザインを支援することでしたが、近年は独自のソフトウェア販売などのクロスセル等による収益源の多様化を目指しています。

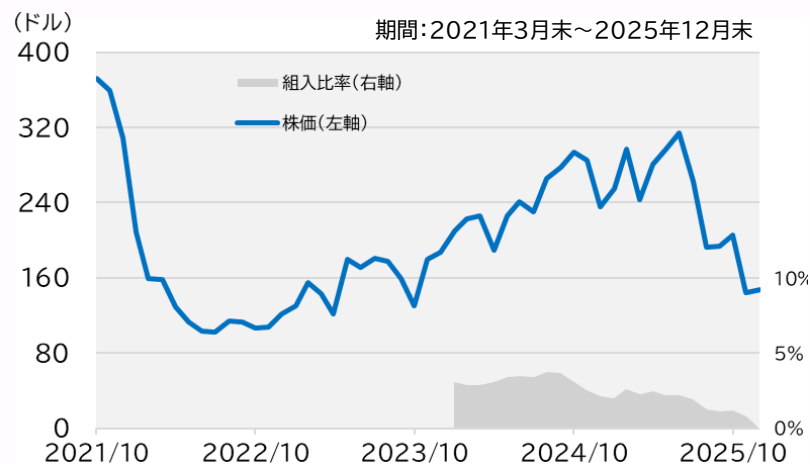
しかし大手他社が中小企業向けにウェブサイトを即座に構築できるサービスを開始したこと等、同社サービスの優位性に揺らぎが見られてきていることや、当初期待していたクロスセルによる成長が困難になっているとの判断から、同社株式の売却を決定しました。



### 全売却:マンデードットコム (イスラエル、ソフトウェア・サービス)

同社はイスラエルのソフトウェア関連企業で、業務をオンラインで一元管理し、目標を効率的に達成できるプラットフォームを提供しています。

AIの台頭により、従来のプロジェクト管理ソフトの需要が代替されたり、顧客が自社でツールを開発するようになるという懸念が強まる中、同社についても将来の成長期待が剥落しつつあるとの判断から、同社株式の売却を決定しました。



※組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する組入比率。

※国はWCM社の定義に基づいて区分しています。業種はGICS(世界産業分類基準)に基づくものです。

※上記個別銘柄は、当ファンドが組入れた銘柄の紹介であり、特定の銘柄の売買取引を推奨するものではありません。また、上記コメントは、予定なく変更することがあります。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## ポートフォリオ・マネジャーのコメント

投資家の皆様へ

2025年の世界株式市場は、全体として堅調なリターンを示したものの、地域やセクターによって結果にばらつきが見られました。2026年を展望すると、世界株式市場は単一の明確なシナリオではなく、多くの要因が複雑に絡み合いながら形成されると予想しています。

AIの普及、市場集中の進行、一時的な個人投資家の熱狂、地政学的な対立、政策の不安定化といった構造的な不確実性が、ポストコロナ時代の新たな現実と相まって、これまでの市場サイクルとは大きく異なる環境を生み出しています。このような状況では、従来では想定しにくかった出来事が起こりやすくなっています。

そのため、AIを「バブルか否か」といった単純な二者択一で捉える姿勢に固執すると、新たな投資機会を見落とすリスクがあります。WCM社ではこうした背景を踏まえ、競争優位性が高く、企業文化に一貫性があり、環境変化に適応できる企業を見極める、ボトムアップ型の投資アプローチをさらに重視していきます。

世界株式市場において複雑な相互作用が強まっていくと予想する一方で、WCM社は2026年以降の世界株式市場に対して依然として建設的かつ楽観的な見方を維持しています。市場には本質的に自己修正機能があり、継続して利益を上げ続ける企業は長期間にわたって企業価値が高まると考えており、そのような企業こそWCM社が投資先に求めるものです。

WCM社の投資は複数年にわたる長期視点で行われ、綿密なリサーチと、事実の変化に応じて柔軟に対応する姿勢に支えられています。世界が急速に変化する中で、真のリスクは『不完全な予測』ではなく、『世界の成長を牽引する企業と一緒に変化・成長できないこと』だとWCM社は考えています。この『変化の波』に乗ることこそ、今後の投資成果を本質的に左右すると考えています。



ポートフォリオ・  
マネジャー  
サンジェイ・エイヤ



ポートフォリオ・  
マネジャー  
マイケル・ハイワード

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

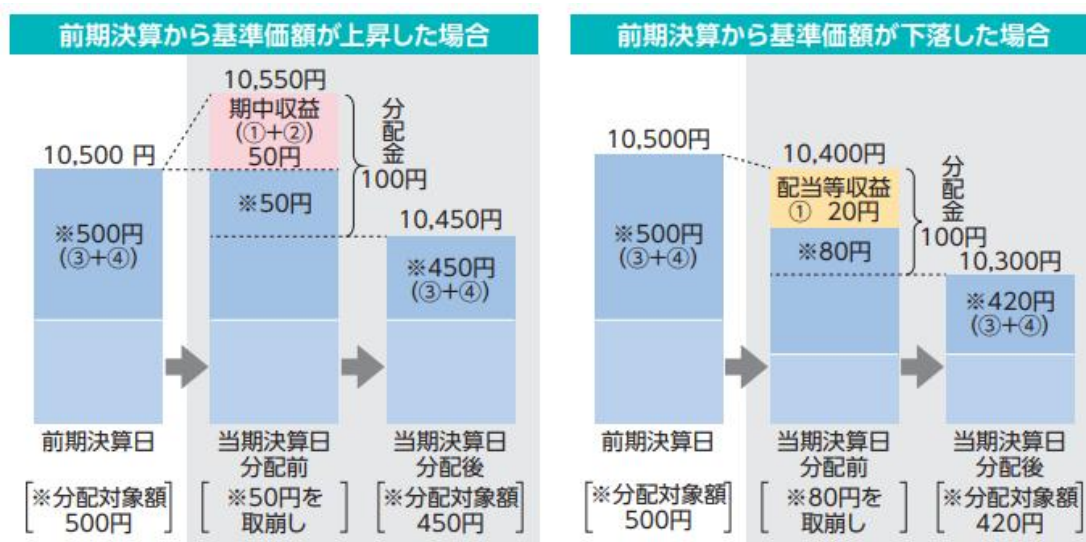
## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

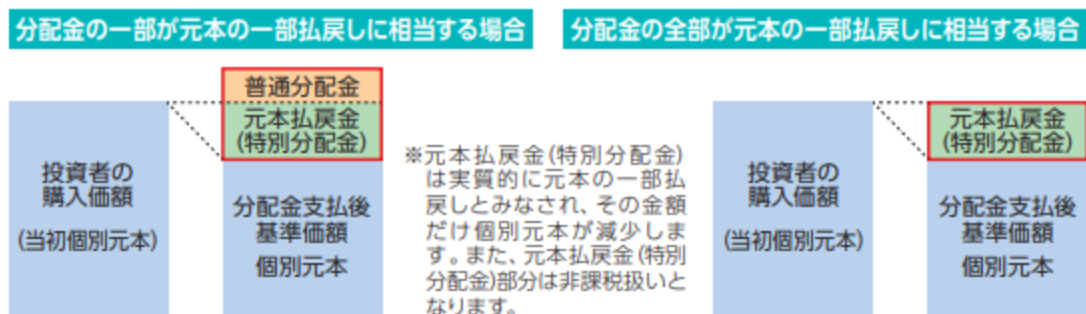
### 《計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合》



(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。

(特別分配金) 分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※ 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## ファンドの目的

WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド(以下、マザーファンド)への投資を通じて、世界各国の金融商品取引所に上場(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)している株式に実質的に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

\*原則として、日本企業への投資にあたっては、ADRを利用します。

## ファンドの特色

1. 日本を含む世界各国の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
2. 参入障壁の持続可能性、企業文化、構造的成長力、バリュエーションなどに基づき、ボトムアップ・アプローチ※を通じて銘柄を厳選のうえ、30～50銘柄程度に集中投資します。  
※ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に基づく投資判断をもとに銘柄選択を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築する運用手法です。
3. 株式等の運用指図に関する権限をWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー(WCM社)へ委託します。
4. 実質組入外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。
5. (資産成長型)と(予想分配金提示型)の2つのファンドからご選択いただけます。

各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の申込手数料は、販売会社が定めています。またスイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。詳しくは販売会社にご確認ください。

### 分配方針

#### (資産成長型)

年1回(2月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

収益分配金額の決定にあたっては、複利効果による信託財産の成長を目指すため、原則として分配を極力抑制する方針とします。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

#### (予想分配金提示型)

毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 原則として、各計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じて、以下の金額の分配を目指します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、下記分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案した分配金額
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。  
※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 投資リスク

- ◆ ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

### 《基準価額の変動要因》

株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク など

### 《その他の留意点》

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※ 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みを制限する場合があります。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所が休場日の場合は、購入・換金のお申込みができません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金申込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	無期限(2021年10月13日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときなどには、繰上償還されることがあります。
決算日	(資産成長型) 毎年2月25日(休業日の場合は翌営業日) (予想分配金提示型) 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	(資産成長型) 年1回決算を行い、分配方針に基づいて分配金額を決定します。 (予想分配金提示型) 毎月決算を行い、分配方針に基づいて分配を行います。 ※分配を行わない場合もあります。 ※収益分配金をそのつど受け取るコースと自動的に再投資するコースがあります。自動的に再投資するコースを選択された場合の収益分配金は、税金が差し引かれた後、決算日の基準価額で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。(資産成長型)は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。(予想分配金提示型)は、NISAの対象ではありません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用

### ◆ 投資者が直接的に負担する費用

- ・購入時手数料：購入価額に**3.3% (税抜3.0%)**を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額  
※詳しくは販売会社へお問い合わせください。
- ・信託財産留保額：ありません

### ◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- ・運用管理費用(信託報酬)：ファンドの日々の純資産総額に**年1.958% (税抜1.78%)**の率を乗じて得た額  
※(資産成長型)は毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期間末または信託終了のとき、(予想分配金提示型)は毎計算期間末または信託終了のときファンドから支払われます。
- ※委託会社の報酬には、運用委託先への報酬が含まれています。
- ・その他の費用・手数料：以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
  - ファンドの監査費用(ファンドの日々の純資産総額に年0.011%(税抜0.01%)の率を乗じて得た額。ただし年44万円(税抜40万円)を上限とします。)
  - 有価証券売買時の売買委託手数料
  - 先物・オプション取引等に要する費用
  - 資産を外国で保管する場合の費用

※ファンドの費用(手数料等)の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## 販売会社一覧

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
岡三証券株式会社(*)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○	○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○	○	○
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○	○
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○	○	○
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○	○	○
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○	○	○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○	○	○
ニュース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○	○	○
ひろざん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○	○
松阪証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第19号	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○	○	○
朝日信用金庫(*)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第143号	○	○	○
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者:株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	○
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○	○	○
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第117号	○	○	○
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○	○	○
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○	○	○
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	○
株式会社千葉興業銀行(**)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○	○	○
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○	○	○
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○	○	○
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者:九州FG証券)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○	○	○
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○	○	○
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○	○	○

(\*)資産成長型のみ取り扱いとなります。(\*\*)予想分配金提示型のみ取り扱いとなります。

※上記の販売会社は2026年1月26日時点の情報であり、今後変更となる場合があります。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が情報提供用に作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性を約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

お申込みに当たっては、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

当ファンドの取扱い販売会社は販売会社一覧をご覧ください。

■ 設定・運用

**ALAMCO**

商号等:朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

■ 運用委託先

**WCM Investment Management**

WCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー